

平成 23 年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人：3 件

(敬称略：五十音順)

氏名	功績の概要
いしばし つねとし 石橋 庸敏 (70 歳) 社団法人日本ケーブルテレビ連盟 顧問	多年にわたるケーブルテレビ事業の経験を活かし、ケーブルテレビのデジタル化において中心的な役割を果たすとともに、地上デジタル推進全国会議の構成員として、行動計画の策定に参画するなど、地上放送のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
こくろかわ かずよし 故 黒川 和美 法政大学大学院 政策創造研究科 教授	多年にわたり、情報通信審議会専門委員及び同ユニバーサルサービス政策委員会主査などを歴任し、電気通信分野における競争政策の策定に携わるとともに、競争が進展する市場環境下において全国あまねく電話を維持すべく、ユニバーサルサービス制度の創設・発展に寄与し、情報通信の発展に多大な貢献をした。
しみず やすたか 清水 康敬 (71 歳) 東京工業大学 監事 (名誉教授)	ICT を利活用した協働教育推進のための研究会座長として教育分野における ICT 環境の構築や ICT の利活用方策についての審議及びガイドラインの策定に寄与するなど、情報通信技術の利活用の推進に多大な貢献をした。

2 団体：3 件

団体名 (代表者名)	功績の概要
あんしん ネットづくりそくしんきょうぎかい 安心ネットづくり促進協議会 (会長：鷺田 清一)	誰もが安心安全にインターネットを利用できる環境構築を目指し、利用者、産業界、教育関係者などの幅広い参加による民間の自主的な取組の有機的な連携を図り、PTA 団体と連携したシンポジウム開催など「もっとグッドネット宣言」に基づく普及啓発事業やインターネット利用に関する調査企画事業を推進し、情報通信の利用環境整備に多大な貢献をした。
かすやまち 粕屋町 (町長：篠崎 久義)	住民サービスの向上と業務の効率化のために、地方公共団体内外の情報システムを連携するための標準仕様である地域情報プラットフォームを活用して、住民手続のワンストップ化などを実現するインテリジェント型総合窓口サービスを全国の地方公共団体に先駆けて開始し、地域情報化の進展に多大な貢献をした。
かぶしきがいしゃこくさいでんきつうしん きそぎじゆつ 株式会社国際電気通信基礎技術 研究所 (代表取締役社長：平田 康夫)	国内外の有能な研究者を積極的に受け入れ、音声翻訳、脳情報などの分野における世界最先端の基礎的・独創的な研究開発を行い、情報通信分野の高度人材を育成するとともに、言語の壁を越えるコミュニケーションの実現や高齢者の負担を軽減し社会への参加を促進するシステムの実現などに多大な貢献をした。